

2024年3月期 第1四半期

決算概況

JKホールディングス(株) (9896)

代表取締役社長 青木 慶一郎



2023年8月22日



JK Holdings Co.,Ltd.

エグゼクティブサマリー

2024年3月期 第1四半期 エグゼクティブサマリー

業績

売上高	947 億円	前年同期比 6.3%減 ↓
経常利益	18 億円	前年同期比 51.0%減 ↓
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9 億円	前年同期比 61.3%減 ↓

・売上高は947億52百万円（前年同期比6.3%減）と「ウッドショック」前の水準は上回ったものの、レコードを大きく更新した前期同期には届きませんでした。

・利益面では、総合建材小売事業が増益を確保し堅調に推移する一方、合板製造・木材加工事業が赤字となり、全体として大幅な減益となりました。

・総合建材卸売事業につきましては、売上のボリュームを確保しつつ、仕入のコントロールや販売価格の交渉等に努め、売上、利益とも「ウッドショック」前の水準はほぼ確保したものの、大幅な増収増益となった前年同期との比較では見劣りする結果となりました。

通期計画

売上計画	4,000 億円	計画進捗 23.7%
経常利益計画	80 億円	計画進捗 23.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益計画	50 億円	計画進捗 18.8%

配当

2024年3月期予想 中間配当 15 円 期末配当 25 円

業界および同業他社について

5ページ

JKホールディングス(株)について

9ページ

2024年3月期 第1四半期決算概要

13ページ

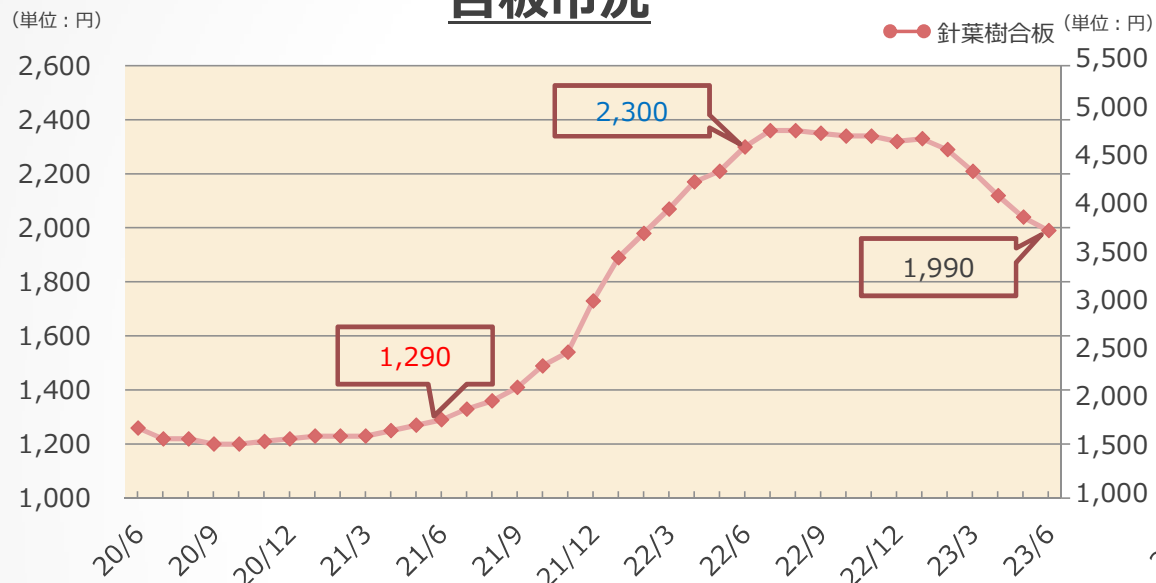
中長期経営計画について

18ページ

業界および同業他社について

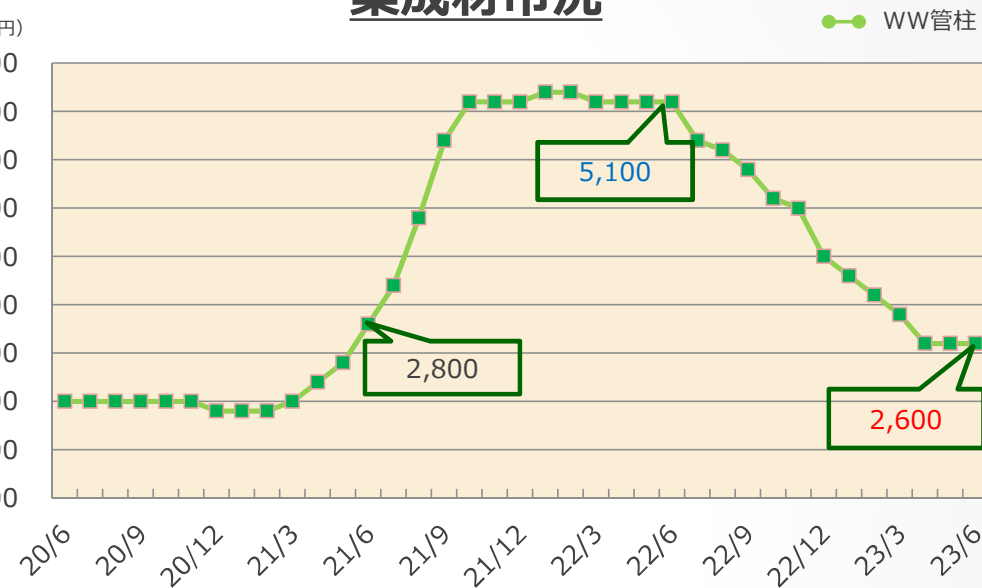
(1) 事業環境 – 合板・集成材市況と為替レート推移

合板市況



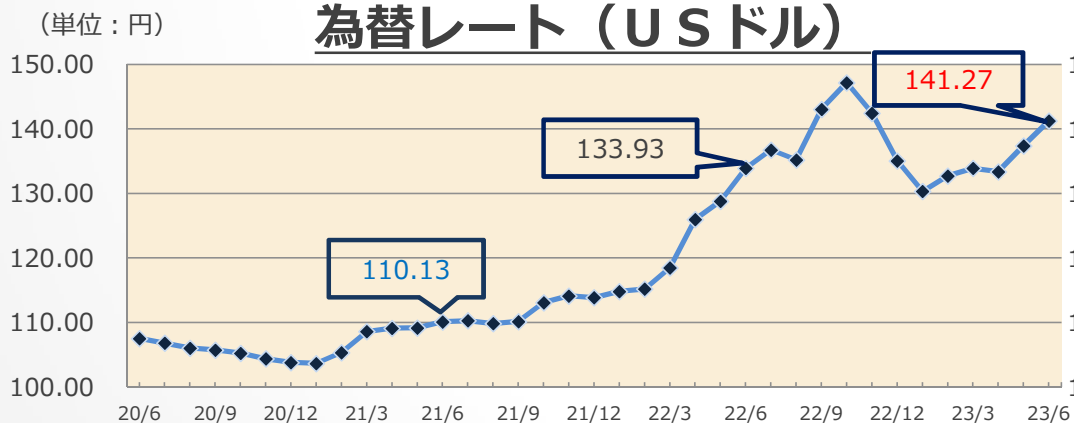
(注) 農林水産省統計 全国平均価格針葉樹合板 (厚12mm、幅910mm、長さ1820mm、1類)

集成材市況



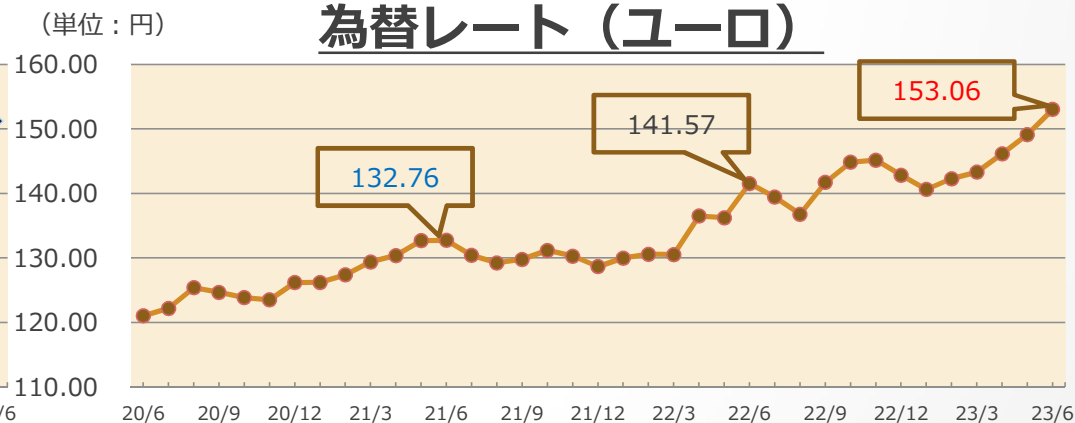
(注) 農林水産省統計 全国平均価格ホワイトウッド集成管柱 (厚105mm、幅105mm、長さ2980~3000mm、1等)

為替レート (USドル)



(注) 三菱東京UFJ銀行 公表相場TTM

為替レート (ユーロ)



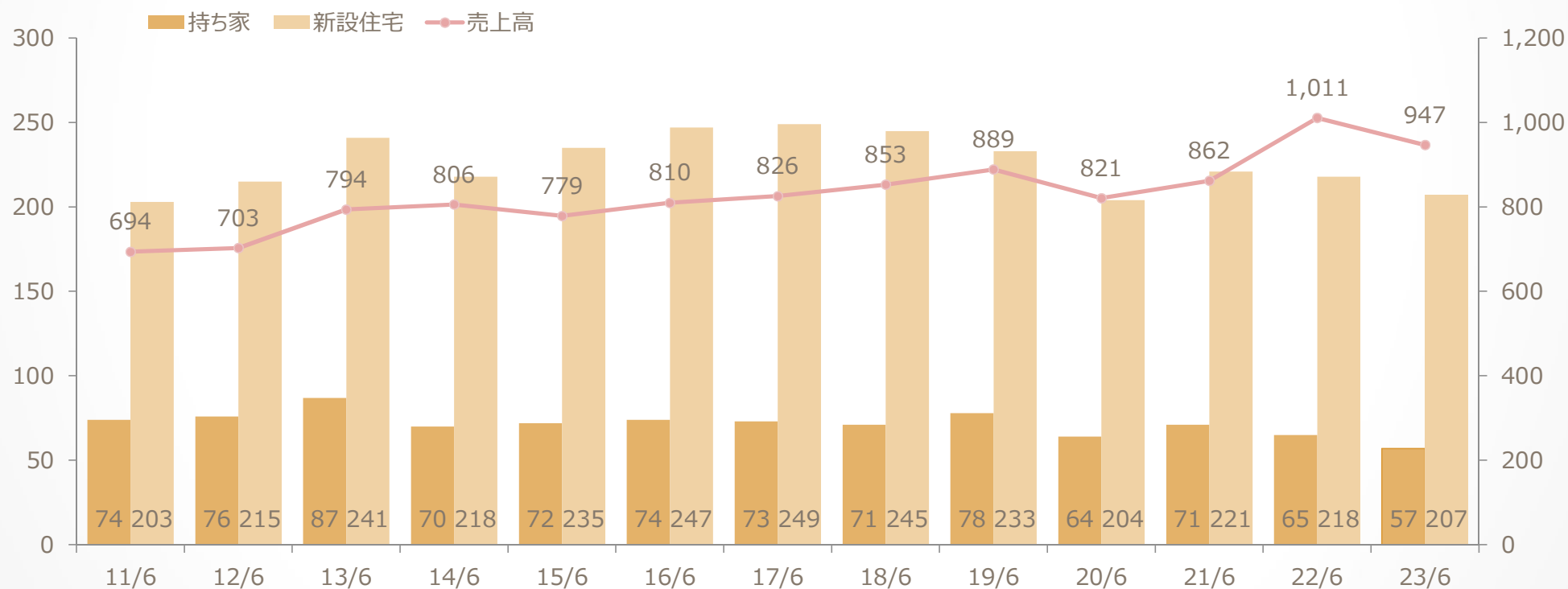
(2) 第1四半期 住宅着工戸数 推移

住宅着工

「ウッドショック」の収束に伴う反動から木材や木質系素材の価格下落が続く一方、建材や住宅設備は一般の資材価格同様上昇が続き、住宅価格は高騰、連れて注文住宅を中心に新築住宅市場が低迷しており、当社グループが主力とする持ち家は、前年同月比で11.9%の減少となっております。

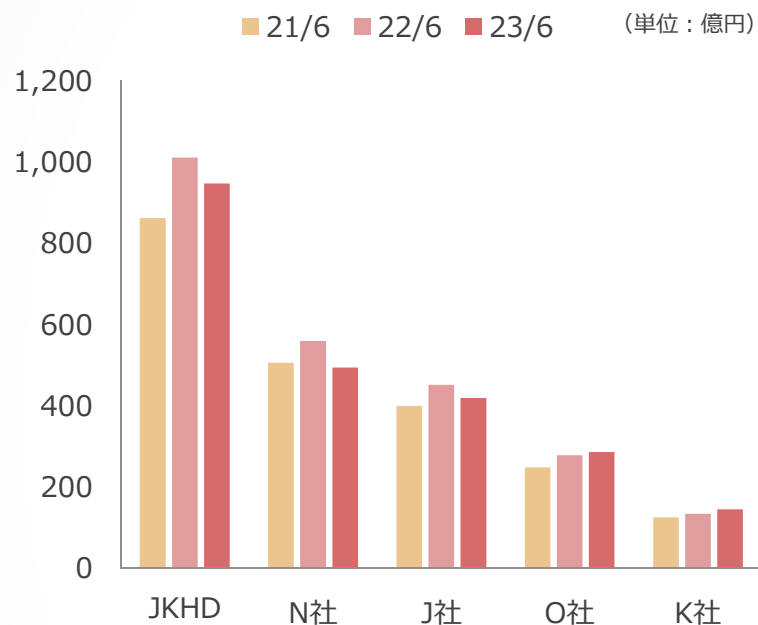
(単位：千戸)

(単位：億円)

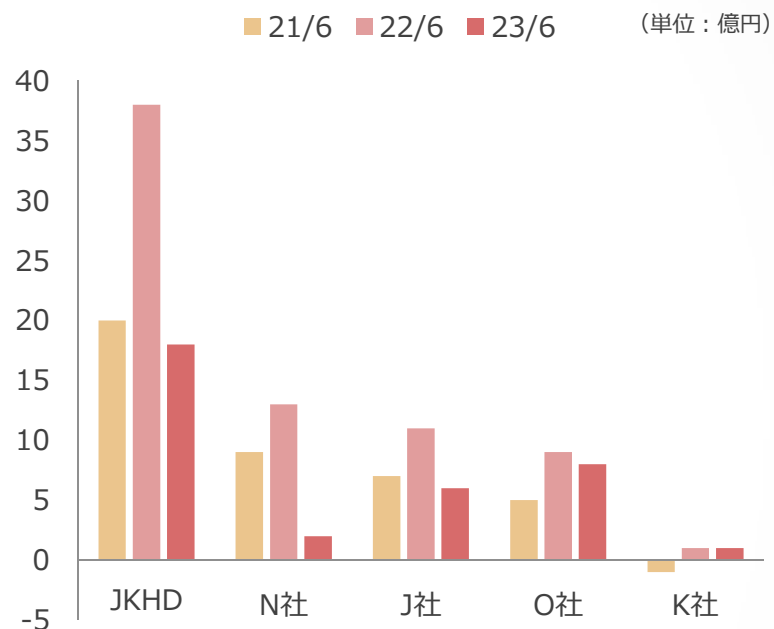


(3) 同業他社との業績比較

■ 売上高



■ 経常利益



■ 前期比較 (増減率)

	JKHD	N社	J社	O社	K社
売上高	▲6.3%	▲11.5%	▲7.0%	3.0%	8.0%
経常利益	▲51.0%	▲83.8%	▲46.0%	▲1.1%	73.0%

JKホールディングス(株)について

(1) 会社概要

企業理念

「快適で豊かな住環境の創造」

当社グループは、住宅建築資材の流通業を主要事業とし、「快適で豊かな住環境の創造」という企業理念の下、より良い住宅資材を、適正価格で、お客様の要望される場所にお届けすることを目標に、営業活動を展開しております。

また、単にモノを販売するだけでなく、お客様に経営のノウハウを提供することで、お客様との共存共栄を図る仕組みづくりにも取り組んでおります。

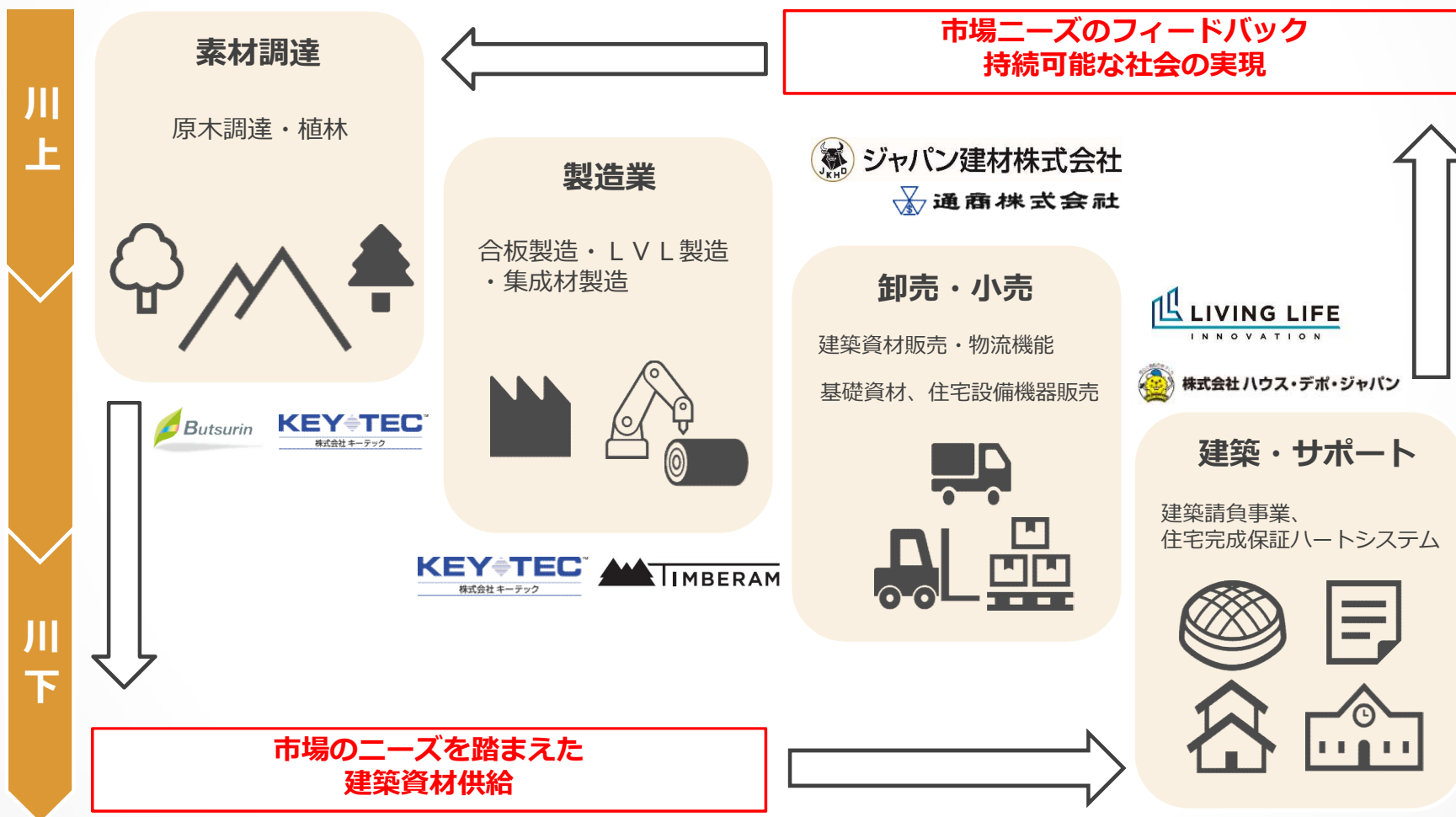
基本情報（2023年6月30日現在）

商号	J Kホールディングス株式会社 (JK Holdings Co.,Ltd.)	創業	1937年10月
代表者	代表取締役社長 青木 慶一郎	所在地	東京都江東区新木場1-7-22
資本金	3,195百万円	事業の内容	① 総合建材卸売事業 13社 ② 合板製造・木材加工事業 9社 ③ 総合建材小売事業 17社 ④ その他 20社 計 59社
従業員数	3,218名（連結）		

(2) JKホールディングスグループ事業概要



JK Holdings Co.,Ltd.



(3) グループ企業一覧

純粋持株会社であるJKホールディングス(株)の下、住宅建材の「専門商社」であるジャパン建材(株)を中核会社として、住宅関連企業をグループ傘下に展開しています。

(2023年6月30日現在)



※青文字は2024年3月期にグループ内組織再編を実施した会社です。

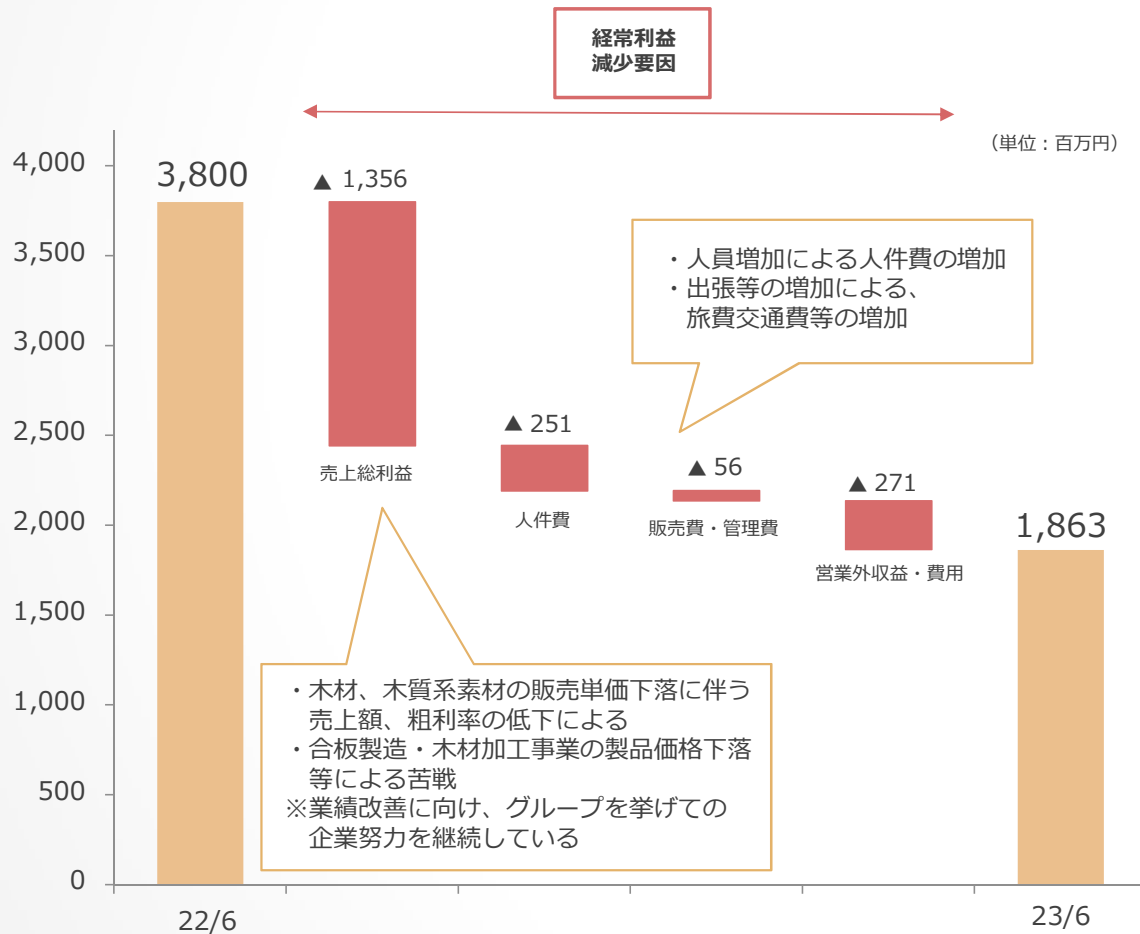
2024年3月期 第1四半期 決算概要

(1) 連結業績

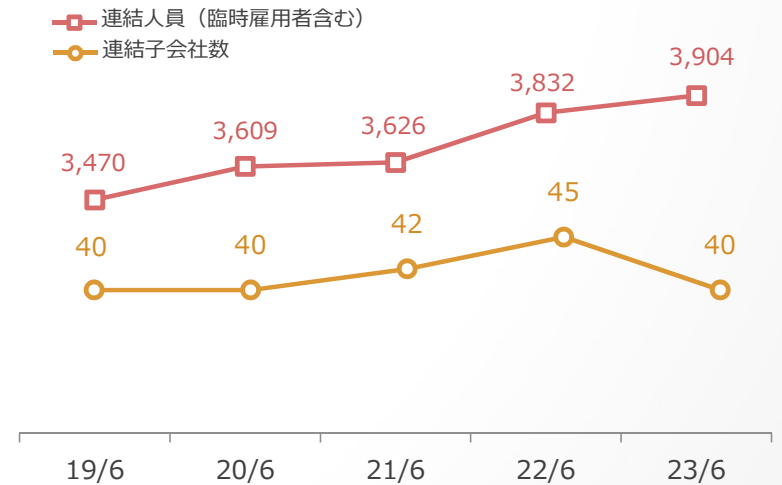
(百万円)	2024年3月期 通期計画	2023年6月期	2022年6月期	前年比 (%)
売上高	400,000	94,752	101,127	▲6.3%
売上総利益	—	11,092	12,448	▲10.9%
(粗利率%)	—	11.7%	12.3%	
販管費	—	9,389	9,081	3.4%
営業利益	8,000	1,702	3,366	▲49.4%
経常利益	8,000	1,863	3,800	▲51.0%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	5,000	938	2,426	▲61.3%

(2) 利益増減分析

連結経常利益増減



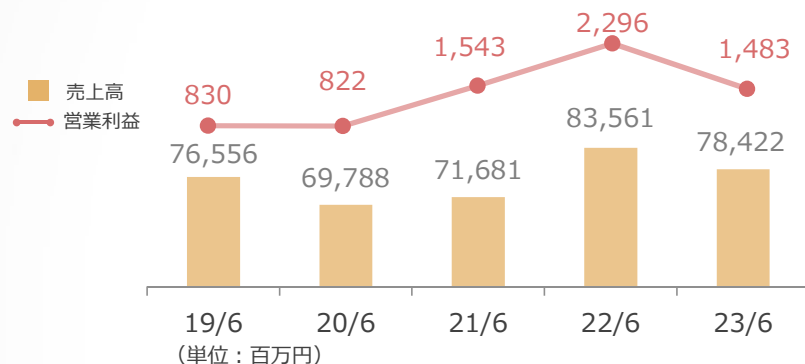
	主要販管費増減内訳		
	22/6	23/6	増減比率
人件費	5,302	5,554	4.8%
販売費	1,932	1,987	2.9%
管理費	1,846	1,848	0.1%
合計	9,081	9,389	3.4%



(3) 事業別の売上高・営業利益推移

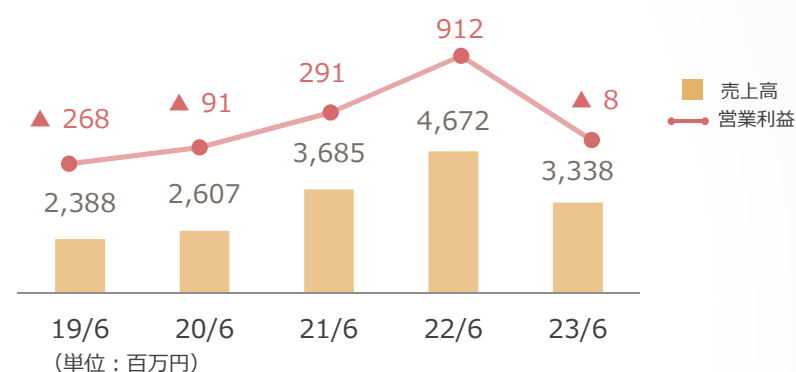
① 総合建材卸売事業

中核のジャパン建材(株)をはじめ、売上のボリュームを確保しつつ、仕入のコントロールや販売価格の交渉等に努め、売上、利益とも「ウッドショック」前の水準はほぼ確保したものの、大幅な増収増益となった前年同期との比較では見劣りする結果となりました。



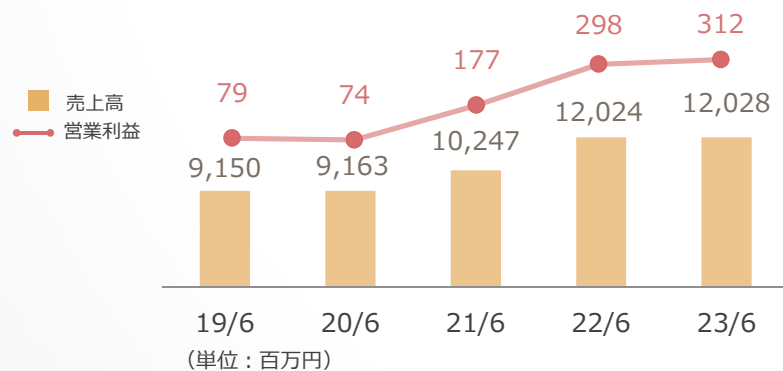
② 合板製造・木材加工事業

中核を占める(株)キーテックは、主力のキークラム(LVL)事業の苦戦および国産合板も前期の勢いはなく、同社全体として売上、利益とも減少しました。ティンバラム(株)は、昨年来の製品価格下落により厳しい状況が続いておりますが、業績改善に向け、グループを挙げての企業努力を継続しております。

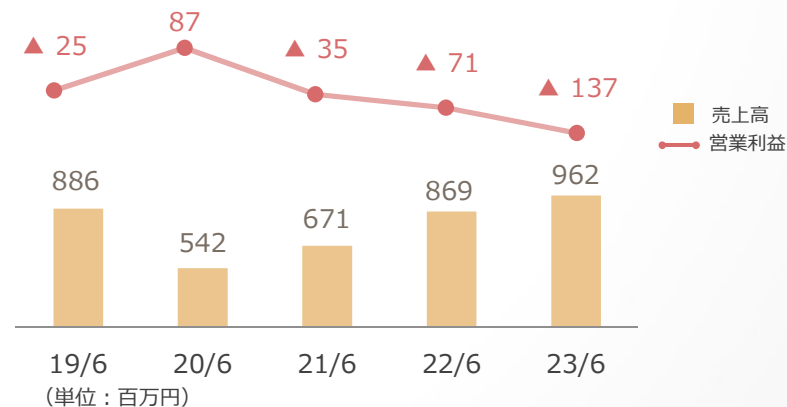


③ 総合建材小売事業

当期、(株)長谷川建材を(株)ブルケン東日本に、(株)タムラ建材および(有)原口建材店を(株)ブルケン・ウエストに吸収合併を行いました。適宜組織再編を実施し、各地の事業承継ニーズに応えながら、グループのネットワークをダイナミックに拡大しております。



④ その他

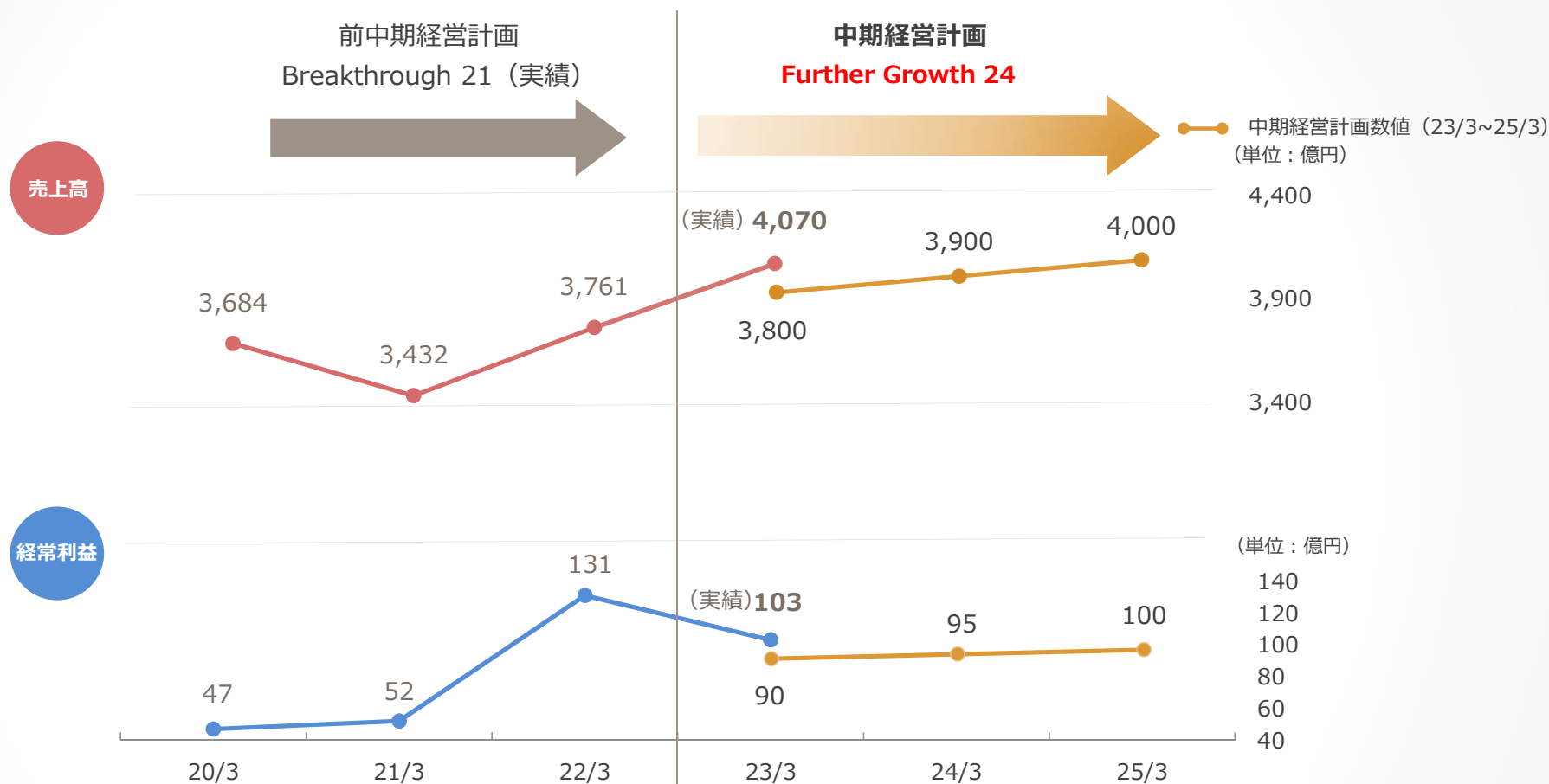


(4) バランスシート状況

(百万円)	2023年3月期	2023年6月期	増減
資産	225,408	221,014	▲ 4,393
現金及び預金	42,897	44,104	1,207
売上債権及び契約資産	88,368	84,481	▲ 3,886
棚卸資産	21,747	19,615	▲ 2,132
固定資産	69,802	70,091	288
負債	167,510	162,471	▲ 5,038
仕入債務	109,030	106,540	▲ 2,489
有利子負債	41,122	40,870	▲ 252
自己資本	56,036	56,624	587
その他有価証券評価差額金	1,312	1,536	224
(自己資本比率%)	24.9 %	25.6 %	

中長期経営計画について

(1) 中期目標 – 売上高と経常利益



※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、2022年3月期以降の各数値(実績・計画)については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

(2) 中期経営計画 重点施策 (2022年度～2024年度)

「Further Growth 24」

重点施策



- ・次世代人材育成
- ・ダイバーシティ、インクルージョン推進
- ・ポートフォリオマネジメント
- ・グループ共通基盤の構築を目指したIT投資
- ・コーポレートガバナンス、コンプライアンス強化



- ・DXを活用した物流効率化
- ・M&A、事業承継を通じた拠点整備
- ・取引先様へのサービス深化、高度化

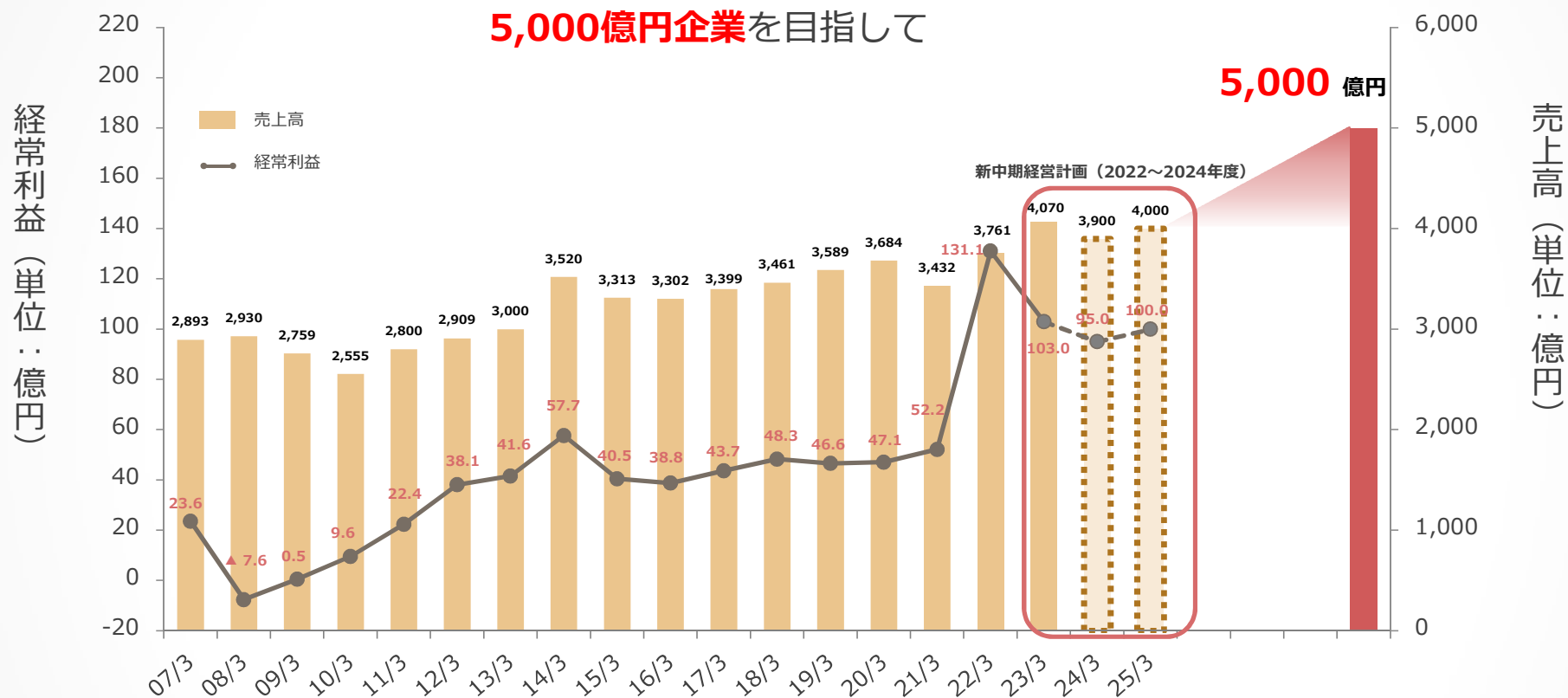


- ・循環型社会の構築に向けた取り組み
- ・職人不足、高齢化への対応
- ・後継者不在、経営者高齢化へのサポート

(3) 長期経営目標

Brand - New JKHD 2030

5,000億円企業を目指して



< 経営陣から投資家の皆様へ >

業界の変化に対応しつつ、企業価値の向上を目指します。
 創造性と挑戦心を持って、事業領域の拡大、深耕を進めていき、
 グループ企業の連携を深め、業界ダントツNO.1グループへと成長していきます。



JKホールディングス株式会社